



揮毫 中野幸彦多賀大社名誉宮司

滋賀縣護國神社
 崇敬奉賛会
 発行所
 滋賀縣護國神社社務所
 〒522-0001 彦根市尾末町1番59号
 電話 0749(22)0822
 印刷 近江印刷(株)

定例総会のご報告

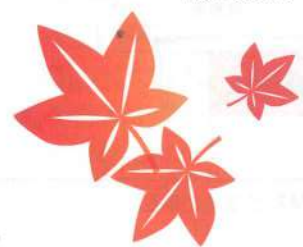
七月十一日、平成二十七年度定例総会が開催されました。総会に先立ち滋賀県護國神社拝殿で奉告祭を斎行。河本英典崇敬奉賛会長より山本賢司宮司に奉納金目録(五百万円也・年四回分割奉納)が贈呈されました。引き続きの総会では、各議案が異議なく承認。特に終戦七十年を記念した事業の実施とともに、護國神社が終戦七十年と創立百四十周年の記念事業として取り組む滋賀県英霊顕彰館建設には、崇敬奉賛会として全面的に協力することが決議されました。

なっているなか、今日までの会員各位の理解と協力に謝意を表されるところにも、引き続き本会の運営に格段の力添えを確認して総会を閉じました。

七月十一日、平成二十七年度定例総会が開催されました。総会に先立ち滋賀県護國神社拝殿で奉告祭を斎行。河本英典崇敬奉賛会長より山本賢司宮司に奉納金目録(五百万円也・年四回分割奉納)が贈呈されました。引き続きの総会では、各議案が異議なく承認。特に終戦七十年を記念した事業の実施とともに、護國神社が終戦七十年と創立百四十周年の記念事業として取り組む滋賀県英霊顕彰館建設には、崇敬奉賛会として全面的に協力することが決議されました。



総会のような様子



崇敬奉賛会会員現況

会員数 5,896 名

(内 訳)

正会員	5,469名
維持会員	195名
賛助会員	62名
特別会員	42名
終身会員	128名

平成27年7月現在

平成26年度一事業報告

(自 平成26年6月1日～至 平成27年5月31日)

平成26年		
6月19日	理事会・評議員会	於 滋賀縣護國神社
7月26日	総会	於 彦根キャッスルリゾート&スパ
9月8日	広報委員会	於 滋賀縣護國神社
10月5日	秋季例大祭 役員参列	於 滋賀縣護國神社
10月10日	広報委員会	於 滋賀縣護國神社
10月25日	御神符頒布始祭並頒布式	於 滋賀縣護國神社
10月25日	崇敬奉賛会通信発行	
平成27年		
4月5日	春季例大祭 役員参列	於 滋賀縣護國神社
5月15日	広報委員会	於 滋賀縣護國神社

※神社奉納金
 年間4回にて500万円を分納

終戦70年に際して



河本 英典

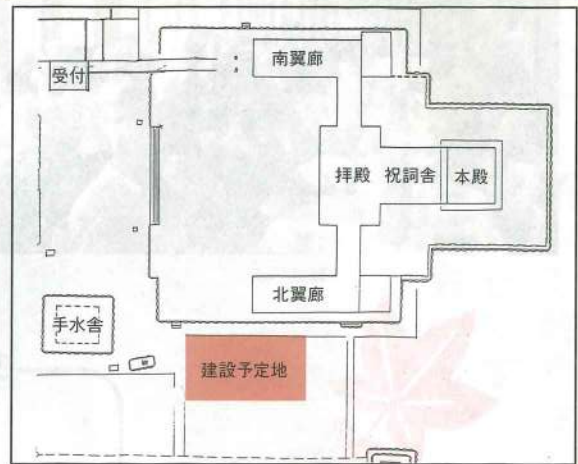
滋賀縣護國神社
崇敬奉賛会
会長

わが国は、戦後一貫して平和国家の道を歩み、国際社会の発展に貢献してきました。戦後の荒廃からの奇跡的ともいえる復興は、国民のたゆみない努力と、近代国家を築く途上で貴い生命を国に捧げられた方々の遺徳の賜物です。英霊に感謝と報恩の誠を尽くしていくことが、現在の「平和と繁栄」を享受する私たちの大切な務めではないかと思えます。

宗教・民族紛争が尽きない国際社会とともに、わが国周辺及び東シナ海・南シナ海などにおける安全保障環境が深刻になってきています。終戦70年に際して、「平和」の意味、その有難さを改めて問い質し、私たちの「平和の礎」である滋賀縣護國神社への崇敬の念を次の世代へと継承していきたいと願うところでです。



滋賀県英霊顕彰館建設へ



建設予定地の略図

大東亜戦争が終結して七十年が経過し、護國神社を取り巻く環境は益々厳しさを増しています。神社を今まで支えていただいていたご遺族や戦友の方々の高齢化により、今後の参拝者の減少が予想され、将来の神社護持の前途に懸念の兆しが窺えます。そこでこうした事態を憂慮し、終戦七十年と御創立百四十周年(平成二十八年)の記念事業と併せて、英霊のご存在を将来に亘り目に見える形で後世に伝えて行こうとのご意見が高まりました。現在、在りし日の英霊のお姿(写真)を掲揚・展示する施設「滋賀県英霊顕彰館」を境内に建設する計画が現在進められています。今後、奉賛会会員各位はもとより、各郡市の遺族会の皆様方に写真提供のご依頼があることと存じますが、その際にはご協力のほど、何卒宜しくお願い申し上げます。

終戦七十年記念事業

本年は終戦七十年の節目の年ですので、三つの記念事業を計画し、実施しましたのでご報告します。

大看板の設置

彦根城へ訪れる観光客にも神社へ参拝していただくため、神社横の市営駐車場側に大看板を設置しました。

大鳥居周辺樹木剪定工事

彦根駅側に面する大鳥居周辺の樹木が鳥居に覆い被さっていたため、樹木の剪定工事をみたま祭前に行いました。

ヤフージャパンへの

掲示広告の締結

大手検索ポータルサイトであるヤフージャパンに「滋賀神社」や「滋賀 御朱印」などの二十六のキーワードを入れれば、ヤフージャパンの検索サイトに神社の紹介とホームページが表示されるよう、二年間限定の広告を締結しました。



戦後七十年の夏に思う



宮司
山本賢司

平成二十七年の今夏は殊の外厳しい暑さでした。世間では安倍首相の戦後談話に関心が集まり、植民地支配、侵略、反省、謝罪等の文言を入れるか否かで連日新聞紙上を賑わせました。それでなくとも日々の高温注意報の中で気分が良くない上に、そのような記事やニュースに触れると益々気分が悪くなってしまう。抑々首相談話そのものが不要と思いますが、安倍首相は「今後はそのような謝罪は子孫の代にまで継承させない」と、見事に対応されたように思います。敗戦から七十年が経過して、果たして国の在りようは変わったでしょうか。英霊を取り巻く環境は良くなったでしょうか。靖国問題は政治問題化されて袋小路に入

山本宮司 神職階位浄階・神職身分一級を授かる

平成26年3月1日、滋賀県神社庁副庁長・滋賀縣護國神社宮司 山本賢司氏には、神社本庁より神職階位浄階・神職身分一級の榮譽を受けられました。滋賀県内で浄階を持つ神職は山本宮司を入れて八名しかおられません。また一級の身分の神職は山本宮司を入れて六名しかおられず、当神社としても大変名誉なことです。山本宮司におかれましてはご健康に留意され、今後ますますご活躍されますことをお祈り申し上げます。



神職の階位と身分について

階位とは、神職として神に奉仕し、社務を執るための任用資格で、直階・権正階・正階・明階・浄階までがあり、直階から明階までは神社本庁の試験検定によって授与されます。浄階は神職の階位としては最高の階位に当たります。身分とは、神職に任用され、その役職や階位によって四級および三級の身分が与えられ、一定の基準や奉仕年数や功績等により、順次昇進しますが、一級以上は明階を有する者でなければなりません。

つてしまっています。一部のマスコミは定番のように閣僚の誰々が参拝し、中国や韓国が抗議を表明云々とするニュースを配信します。あたかも靖国神社への参拝することが良くないことであるかのような印象を与えている報道の仕方です。靖国参拝が政治問題化したのは、このような報道姿勢を持つマスコミにも責任があることは明白でしょう。NHKを始めとする報道関係者、あなた方は本当に日本人なのか、何処の国の報道機関なのかと疑いを持ってしまふほどです。靖国の英霊に対して尊崇の念を持ち合わせている気配は微塵も感じられません。私の手元にジャブプランブックスの村永薫氏編「知覧特別攻撃隊」の冊子があります。その中に収めてある遺書に、幼い我が子に向けてカタカナで書かれた遺書があり、目を通す度に涙が浮かびますが、ご紹介しましょう。

『父は姿こそ見えざるもいつでもお前たちを見ています。よくお母さんの言いつけを守って。略：立派な日本人になることです。他人のお父さんを羨んではいけませんよ。』「マサノリ」「キヨコ」のお父さんは神様になって、二人をジッと見えています。略：お父さんはマサノリ」「キヨコ」のお馬にはなれませんけれども、二人仲良くしなさいよ。』(原文カタカナ)
神様になられた英霊は靖国神社に鎮まっています。戦時下、家族や戦友に靖国神社で会おうとの言葉を残して亡くなられた方々がいかに多かったことか。
都留文化大学教授の新保祐司氏は八月四日の産経新聞「正論」欄で、靖国が政治問題化したことについて、英霊に申し訳ないことだという故町村信孝前衆議院議長の大東亜戦争についての様々な言説に対する頂門の一針ではないのか「英霊に申し訳ない」という感覚が欠如した言論は歴史に対する不敬であるとし、今こそ、英霊に対して恥ずかしくない鋼鉄のような日本を創造することを決意しようではないか、と述べておられる。
戦後七十年、占領政策やその残滓に決別し、現行憲法によって平和的に腐敗させられた社会から脱却する。そんな時代の到来を実現出来るようにしなければ、本当に英霊に對して申し訳ないではありませんか。

題字「近江のみたま」に決定

本年終戦七十周年を迎えるにあたり、会員の皆様より崇敬奉賛会通信の題字(タイトル)を募集しました。河本会長と山本宮司、國松・山田・酒井・松井・岸田副会長の間で厳正に選考しました結果、「近江のみたま」に決定しました。ご応募いただいた方々には、厚く御礼申し上げます。

題字は本会の顧問である、中野幸彦多賀大社名誉宮司にご揮毫いただきました。

題字候補名

さざなみ
琵琶の礎
近江のみたま
静心
金亀の社
金亀の杜
金亀山
鳩場の英霊

※「さざなみ」は既使用されています。

「近江のみたま」に込めた想い

長浜市 大家 博

滋賀縣護國神社に永遠に祀られます。ご英霊三万四千七百五拾余柱のみたまは今を生きる私達をこよなく深くお護り頂いております。

私達はご英霊に心より手を合わせ今日の平和社会を築いて頂いた礎に深い感謝を申し上げねばなりません。家庭、地域、そして広く社会に生きる幸せを心致さねばなりません。改めて近江のご英霊に日々台掌を忘れてはなりません。

**滋賀縣護國神社は今を生きる我々の幸せを願って散華された
滋賀県出身の殉国の「みたま」をお祀りする神社です
未永く「みたま」をお祀りするために崇敬奉賛会へ
ご加入戴きますよう何卒宜しくお願い申し上げます**

幕末から明治・大正・昭和と、
近代日本へと移行する過程で多く
の方々が戦争に従軍して尊い犠牲
となられました。このように、近

代国家建設途上での滋賀県出身ま
たは滋賀県に由縁深い殉国の御神
霊「みたま」即ち英霊を祭祀する
神社が滋賀縣護國神社です。

全国各地に同様の護國神社は五
十二社ございますが、滋賀県では
彦根市尾末町の国宝・彦根城の東
側、外堀沿いに神社は鎮座してご
ざいます。

従来より国家の安泰と社会の安
寧へのご加護を祈り、悠久の平和
を祈願する神社として尊崇されて
参りました。

しかしながら、大戦後半世紀以
上が過ぎ、この護國神社を護持し
ていく支援基盤が急激に減少して
います。このままでは二十年後、

いや十年後の護國神社の状況を推
測すれば、果たして現状の祭祀形
態を維持出来るかどうかも危ぶま
れる事態が生じるでしょう。

従いまして、幅広い支援者・崇
敬者を勧募する必要があります。
過年、新しい後援組織として崇
敬奉賛会を創設いたしました。会員
募集を行っています。

会員になられた方には会員証を
お渡しして護國神社の御神符を頒
布させて頂いています。また、下
記の会員の種別によりそれぞれの
記念品をお渡ししています。

どうか趣旨ご理解願ひ、広く有
志の皆様方に是非とも本会にご入
会下さいまして、護國神社の祭典
の継続と未永い護持にお力添えを
賜りますようお願い申し上げます。
第です。

JR彦根駅西口より彦根城方面



徒歩約十分で滋賀縣護國神社の正
面鳥居前の橋に至ります。緑豊か
な境内神域にご家族お揃いでお参
り下さい。湖国の平安と家内安全
をご祈願頂き、ゆったりとした時
間をお過ごし下されば、まことに
有意義なひと時になると存じま
す。ご参拝をお待ち申し上げます。

※ご入会を希望される方は、地元遺族会役員又は直接護國神社へ申し出ください。

申込書

※ご希望の所に☑を入れてください

- 正会員…年額 金 1,000 円
- 維持会員…年額 金 3,000 円
- 賛助会員…年額 金 5,000 円
- 特別会員…年額 金 10,000 円
- 終身会員…一時 金 100,000 円

〒
ご住所 _____
電話番号 _____
お名前 _____